

令和6年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 幹事会（第1回）

会議の概要

- 会議名 令和6年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 幹事会（第1回）
 - 開催日 令和6年7月5日（金曜日）
 - 出席状況 東京都、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、西東京市、国土交通省
 - 議事の要旨
 - * 国土交通省より、騒音測定結果や部品欠落報告等についての説明
-

【主な意見及び国の回答等】

- ・ 騒音値について、実測値の平均が昨年度より大きくなっている測定局や、説明会の際に示した推計平均値を上回っている測定局がある。復便の影響はあると思うが、住民から声をいただいている状況である。特に大型機については低騒音機導入による騒音軽減効果が大きく、また小型機に関しても機種構成割合が多いため、積極的な導入促進をお願いしたい。
⇒羽田空港の着陸料は航空機の重量に加えて、騒音を加味した料金体系に見直しており、航空会社に対しても航空需要を踏まえ、可能な限り騒音の小さな機材を選択するよう要請し、低騒音機の導入を促進しているところである。引き続き、航空会社に対して低騒音機材の導入を要請していく。
- ・ 羽田空港新ルートに関する住民説明会について、運用開始前は複数回実施いただいたものの、運用開始以降かなりの日数が経過したこともあり、議会からも説明会の開催要望を受けている。これまでも何度か要請しているが、引き続きご検討いただきたい。また、1月に発生した羽田空港の事故についても、一層の安全対策と再発防止策についても合わせてお願いしたい。
⇒住民説明会についてであるが、引き続き機会を捉えて実施に向けて検討を行っていく。
1月の事故について、現在、運輸安全委員会で調査を実施しているところであり、6月に事故対策の中間とりまとめを実施したところである。引き続き安全対策を実施していく。
- ・ 国への問い合わせの中で、羽田新飛行経路の固定化回避に係る技術的方策検討の検討状況等について、とあるが、実際どの程度あったのか。また、現在、検討はどこまで進んでいるのか。当初の検討会開催予定から1年近く延期となっており、住民から問い合わせをいた

だいている。当区としても具体的な説明ができない状況であり、住民に向けた丁寧な情報提供を要望させていただく。少なくとも検討を前に進めているということだけでも、住民に向けて情報提供していただきたい。

⇒問い合わせの個別内容の件数については手元にデータがない。固定化回避の検討状況については、現在、安全性のリスク評価を行っており、安全性を確保した上、技術的な可能性を確認している。昨年実施予定であった第6回の検討会は延期となっているが、引き続き開催に向けて進めていく。引き続き検討状況等を踏まえて速やかに情報提供できるよう努めていく。

- ・ 大型機の就航割合について、新飛行経路運航開始前より減っているとのことであるが、コロナ禍と比較すると航空需要が回復して大型機が増えている状況である。区民からも騒音に関する声をいただいております、軽減に向けた対応を要望させていただいているところである。一方、固定化回避検討会については5回目以降、2年近く開催されていない。1月の衝突事故に対する安全対策、さらなる再発防止策を引き続きお願いするとともに、固定化回避についても安全性の検証を最優先にさせていただきつつ、早期の検討会開催、具体的な取り組みの提示について、要望させていただく。

⇒要望について承った。

以上